

石田進後援会ニュース

石田進後援会報

発行責任者/飯田耕造 神栖市知手 3420-29 TEL/FAX: 0299-90-5533

討議資料

これだけ変わった！神栖市政 第2弾

みんなでつくる新しい神栖市 市民と共に歩んだ4年間

市民の声に耳を傾ける体制を各課で整備し、迅速かつ丁寧に対応出来る体制になりました。

これだけ
変わった!!

① 行政区からの
要望達成率

H29年度

R2年度

70.9% → 86.6%

4年間での要望達成率約16%増

② 困りごとサポート室
の相談件数

4年間で703件

③ まちづくり懇談会
の開催回数

4年間で22件



これだけ
変わった!!

財政健全度ランキング

遅れていた事業が多々ある中、国や県と連携しながら健全な財政運営を崩さずに、県内順位1位を継続するとともに、全国順位も引き上がりました。

H29年発表
R3年発表

県内順位
第1位

全国
順位

H29年発表

R3年発表

第19位 → 第8位

※出典：「都市データパック」(東洋経済新報社)

これだけ
変わった!!



災害対策 (津波・排水)

災害に対して、万全な対策をする為に、各対策チームを発足し、ソフト面の強化や対策事業・整備事業(ハード面)を円滑に進めました。

ソフト
事業

防災減災対策チームの設置

地震や津波、洪水に備えた防災、減災対策の検討。(H30年度~)

利根川下流域治水対策協議会の発足

洪水、津波、高潮時における冠水の解消を目指す。(H30年度~)

防災士協議会の結成

市民有志42名により神栖市防災士協議会を結成。(R3年度~)

北公共埠頭雨水幹線整備事業

神栖市中心部(大野原・平泉・深芝地区)の排水対策。(H29年度~)

災害対策事業

市内10箇所に土のうステーションを設置。パーテーション購入など避難所用物品の大幅拡充。(R元年度~)

本郷地区浸水対策事業

本郷地区の排水対策。(R3年度~)

太田・矢田部地区の排水路整備事業

太田・矢田部地区内の排水対策。(R3年度~)茨城県との覚書の締結。(R2年度)

ハード
事業

H29年度

R元年度

寄付金額

約2500万円
(県内28位)

約10倍増

約2億7000万円
(県内7位)

ふるさと納税
運営収支額

約4200万円
赤字

約1億円改善の実現

約5000万円
黒字

これだけ
変わった!!



ふるさと納税

返礼品数も20倍に増え、神栖市のPR活動に大きく貢献し、赤字だった事業も黒字となり健全な事業になりました。

(寄付金額 - 税額控除額 - 募集経費)
※各数値は総務省の公表値による



「結婚・出産・子育てしやすい環境づくり」を強力に推進!!



子どもを虐待から守る条例の制定

子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図ることにより、虐待の防止や早期発見に努める。(令和2年度~)

子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点の開設

保育士と子育てコンシェルジュを配置し、妊産婦や子育て中の保護者に対して相談、情報提供や支援プランの作成を行う。(令和元年度~)

子育て応援ギフトカタログ (15,000円分)・応援券 (30,000円分)

妊娠出産時・小学校入学時に役立つカタログと応援券を贈呈。(令和元年度~)

インフルエンザ予防接種の追加助成

1歳~小学6年生は期間内2回接種費用を助成。(令和元年度~)

かみす子育て住まいの給付金

子育て世帯等の住宅取得による移住定住を促進するために、住宅取得費の一部を助成し、居住地域誘導や移住・子育て支援も行う。(令和2年度~)

子育て日本一プロジェクト

多様化する子育て世代のニーズに合った新規事業や、既存事業の拡充など、市民の声を反映し、コロナ対策としても給食費の無料化など、子育て環境・子育て支援を大幅に拡充しました。

これだけ
変わった!!



市内学校の 施設整備

子どもたちがより良い環境のもとで学べるように、令和元年度に策定した計画に基づき、遅れていた学校教育のデジタル化やエアコンの設置、トイレの洋式化など、全て進めることができました。

これだけ
変わった!!



エアコン設置

・市内小中学校の普通教室や特別教室等、幼稚園の保育室に設置完了 (R元年度)

トイレ洋式化

- ・軽野東小学校 (R3年度)
- ・大野原西小学校 (H30年度)
- ・やたべ土合小学校 (H30年度)
- ・神栖第四中学校 (R元年度)
- ・波崎第三中学校 (R2年度)

学校教育デジタル化

・市内小中学校全てに、1人1台タブレット端末を配布 (R2年度)

神栖市内
幼稚園4園
小学校14校
中学校8校

エアコン設置
トイレ洋式化
タブレット端末配布

全て
完了

Next Step

これ以外にも神栖第二中学校での教室不足の解消 (R2年度供用) や、波崎地区のプール施設の整備 (R3年度~) など、更なる教育環境づくりの実現に取り組みます。

待機児童0人の達成!!

これだけ
変わった!!



利用児童数が県内4番目に多い神栖市。この4年間で待機児童0を達成しました。今後は公立幼稚園において、保育時間終了後の預かり保育等サービスの拡充や、給食提供も進めます。

市内待機児童数

H29年度

R3年度

29人 → 0人

※国が定義する待機児童数による

この間、保育所数も6園増

石田進後援会事務所

7/27(火)~開設

お気軽にお越しください。

かみすを好きな人があふれる街を目指して

